

伊賀市にぎわい忍者回廊整備（忍者体験施設等整備）事業

図書館ワークショップ 「新図書館×みんなのアイデア」

報告書

令和7年（2025年）3月
(株)伊賀市にぎわいパートナーズ

目次

I 図書館ワークショップ開催概要

1. 開催目的	_____	2
2. 開催概要	_____	2
3. プログラム	_____	3

II 図書館ワークショップ結果

1. ワークショップについて	_____	8
2. ワークショップで出た意見・アイデア	_____	8
3. まとめ	_____	11

III ワークショップ内のイラスト写真 [付録] — 13

I 図書館ワークショップ開催概要

1. 開催目的

本ワークショップは、令和8年4月に開館予定の新図書館が目指す「市民の皆様が主体となって楽しみ、学び、交流できる場づくり」に向けて開催しました。

一人ひとりの得意なことや関心のあることを図書館でどのように活かすことができるのかを、参加者の皆様と共に考えることを通じて、これからの図書館の在り方や、市民参加による図書館運営の可能性を探り、地域に開かれた、より親しみやすく利用しやすい図書館をつくっていきたいと考えています。

2. 開催概要

日 時：令和7年3月8日（土） 午後2時～4時

会 場：ハイトピア伊賀 5階多目的大研究室

対 象 者：伊賀市在住・在勤・在学（児童・生徒）・近隣の市町村在住の方

定 員：40名程度

（応募者多数の場合は抽選）

告知方法：チラシ、HP掲載、記者発表

申込方法：申込フォーム、FAX、図書館（室）カウンターでの申込み

申込期間：令和7年2月1日（土）～3月4日（火）

参加者数：26名

チラシ



全参加者内訳

年代	人数	割合
30代	1	4%
40代	5	19%
50代	4	15%
60代	5	19%
70代	8	31%
80代	3	12%
合計	26	100%

3. プログラム

(1) タイムスケジュール

13:30 開場・受付

14:00 挨拶、本日のスケジュール

14:05 新図書館の説明

14:20 ワークショップ

メインファシリテーター：中脇 健児氏

(場とコトLAB／大阪芸術大学 准教授)

グラフィッカー：稲垣 奈美氏

(グラフィックファシリテーター)

テーブルファシリテーター：株式会社図書館流通センター

テーマ：「本棚」「イベント」「お手伝い」

「サロン」「心配ごと・疑問」

16:15 閉会

(2) 配布資料

- ・新図書館 説明資料
- ・新図書館 平面図 3 枚



(3) 新図書館の説明

配布資料をもとに、「これまでの経緯」「新図書館について」「プレイベント」「これからのスケジュール」について説明。新図書館の新しいサービス・イメージパース・家具の写真などに加えて、先行で実施している電子図書館サービスや、新図書館開館までに実施予定のプレイベントについて紹介した。



新図書館説明スライド（抜粋）

**図書館ワークショップ
新図書館×
みんなのアイデア**

▼ **これまでの経緯**

2022年8月 伊賀市と伊賀市にぎわいパートナーズが契約締結
 2023年1～3月 ワークショップ「みんなで作る新しい図書館」全3回
 2023年8月 旧上野市庁舎整備についての事業説明会
 2023年11月 旧上野市庁舎工事説明会

▼ **新図書館の先行サービス**

2024年4月～電子図書館の導入

- ・いつでもどこでも読める
- ・656冊の電子書籍を提供（3月末現在）
- ・紙の本では予約が多い人気本も電子書籍ですぐに読める

2026年4月～電子雑誌の導入予定

- ・269雑誌がスマホやPCで読める

▼ **新図書館の新しいサービス**

自動貸出機 自動返却機 予約欄

▼ **新図書館のイメージパース 1F**

▼ **新図書館のイメージパース 1F**

▼ **新図書館の家具**

展示棚 イスとテーブル

▼ **プレイベント**

施設の魅力を知る **建築の魅力を知る**

ぬいぐるみと行く にぎわい図書館ツアー 図書館三を体験する施設見学

▼ **これから**

2025年度 旧上野市庁舎オープン

2025年11月～2026年3月 上野図書館引越し、開館準備

2026年4月 新図書館オープン

↑ ↓
プレイベントの実施

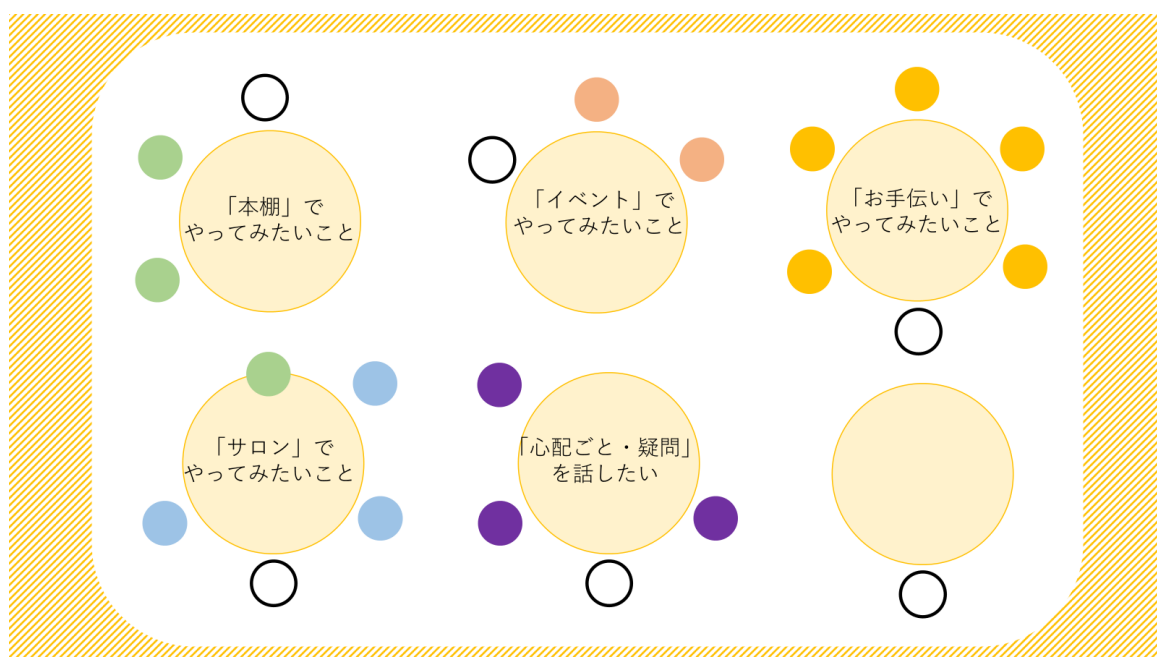
(5) ワークショップ

開催体制

ファシリテーターを入れて1グループあたり5～6名程度、合計6グループに分けて実施。メンバー構成は自由。話したいテーマを参加者自身が選び、そのテーブルへ移動する形式とした。

テーマ

「本棚」「イベント」「お手伝い」「サロン」「心配ごと・疑問」の5つ。今回は6グループとしたため、希望が多かった「イベント」を2つに分けて実施した。



目的・達成したいこと

- ① 新しくできる図書館でやってみたいアイデアを発散する。
- ② 7月以降の試行事業（プレイベント）に合わせて、「これならできそう」を参加の皆さんと決める。

各グループにファシリテーターを配置

ファシリテーターを配置し、各グループの進行を行った。参加者は自由に発言してもらい、ファシリテーターが模造紙や付箋を使ってメモを残した。



ファシリテーターが誘導



好きなテーマを選んで移動



発言をメモに残す

ワークショップの流れ

① グループ内で自己紹介。

(趣味や活動、最近読んだ本・好きな本、図書館でやりたいこと等)

② アイデア発散の時間。話したいテーマごとに分かれて喋りあう。

③ 全員でシェア（発表）。やりたいことを共有する。

それをグラフィッカーが絵に描き、具体的なイメージを形にする。

④ 席替えを行い、再びアイデア発散・シェアの時間。

⑤ 参加者がペンを持ち、グラフィッカーが書いた絵に意見を書き込む。

ワークショップの様子



自己紹介



アイデア発散の時間



全員でシェア



イメージを形にする



席替え後



絵に意見を書き込む

II 図書館ワークショップ結果

1. ワークショップについて

本ワークショップでは、幅広い年齢層の方が参加され、「本棚」「イベント」「お手伝い」「サロン」「心配ごと・疑問」をテーマに、新しい図書館で自分たちがやってみたいことのアイデアを出し合った。対話と絵を通して、より具体的なイメージを共有することができたのではないかと考えられる。

2. ワークショップで出た意見・アイデア

(1) 「イベント」グループ①

- ・グループの中に実際に本を書いている方がいた。書籍の出版や本づくりを手助けするようなイベントをやってほしい。子ども向けの本づくりイベントがあると、本を書くことが好きな子や絵を描くことが得意な子たちが参加できるのではないかな。

- ・子どもたちが集まるイベントがあるといい。上野図書館でやっていたビブリオバトルのようなものだ

と本好きな子たちが集まってくれると思う。中庭での音楽イベントもやってほしい。

- ・新図書館がうまくいくためには、とにかく図書館に来てもらう必要がある。より多くの人たちを集めてもらうためには様々なイベントが有効的ではないかと思う。



(2) 「イベント」グループ②

- ・音楽イベントをしてほしい。フルートやピアノ、ミニハープなどによるクラシックコンサートや、本とのコラボとしてテーマ（例：ギリシャ神話についての本）を決めて行う形式はどうか。市内には児童合唱団もある。学習室となる部屋は元々議場のため、防音がしっかりしている。

- ・体を動かすイベントがやりたい。

- ・貸館として、学習室を学生の利用がない時間（午前中・夜間など）に、自由に借りられるようにしてほしい。市内・市外含めていろんな人が集まってきやすいはず。できれば24時間が希望。時間帯によって金額を変える形で有料とすることで、収入が増えて市も潤うと思う。



(3) 「本棚」グループ

- ・利用者が利用しやすいよう、背の低い本棚がいい。子どもたちも使いやすくなるはず。
- ・家具案で見せてもらったものはスチール製の本棚だったが、できれば木のぬくもりなどあたたかみを感じるものにしてほしい。
- ・書庫は普段は関係者しか入れないが、一般の人も見学できるようにしてほしい。書庫ツアーなど、書庫をオープンする日をぜひ設けてほしい。



(4) 「サロン」グループ

- ・子どもがいたい図書館を目指したい。進学・就職で伊賀を離れたとしても、また戻ってきたいと思ってもらえるような図書館を作りたい。
- ・朝から昼間は、シニア世代がゆっくり過ごせる場所として。学校が終わったあとの時間帯は、子どもの安心安全な居場所として。大人たちは少し離れたところで子どもたちを見守りながら、珈琲を飲んだり、コミュニティを作ったり、読書を楽しんだりできる空間が理想。子どもたちは、かしこまった感じではなく、寝転んだり自由な感じで、本を読む習慣を作り、友達同士で情報交換できるような空間がよい。（ここで言う子どもは未就学児ではなく、もう少し自立した子どものこと）
- ・伊賀にはない職業や自分たちがこんな職業を作りたいなどといった新しい職業体験を、本を通してできるようなコミュニティが作れたらよい。
- ・宿泊施設もあるので、観光客に伊賀を知ってもらう空間もほしい。地元の人たちも「もっと伊賀を知りたい」と思ってもらえるような資料がおいてあるとよい。



(5) 「お手伝い」グループ

- ・グループの中に、本を自分で書き続けている人と、本を作ったことがある人がいた。本が好きな人の中には、本を作る側、物語を作りたい側の人がいる。本づくりのお手伝いがしたい。
- ・自分が持っている本を誰かに譲りたい。
- ・伊賀の地元が好きで、地元に貢献したい人は多くいる。そういう人たちの様々な経験を活かす場があればよいと思う。



(6) 「心配ごと・疑問」グループ

- ・図書館と同じ建物の上階にホテルがあることはこれまで例がなく、初めて聞いたケースである。
- ・図書館も様々な役割を持っていると思うが、図書館は集中して静かにゆっくり本を読むところであってほしい。本来の姿はそのままいてほしい。
- ・建物そのものの価値を忘れてはいけない。図書館でもホテルでも、外構がどうなるのか気になる。



- ・現在ボランティアで活動しているが、新図書館でも活動の場がほしい。そういう場所がなければならぬのではないかと。図書館のためのボランティア活動なので、ぜひ利用させてほしい。
- ・家に本がたくさんある。図書館ではリユース（リサイクル）で図書館の本を出しているが、逆に市民からの本を活用する場・交換する場・譲る人が集まる場として、図書館があってほしい。

(7) 席替え後「サロン」グループ

- ・旅行などテーマを決めて、それについて語り合うような時間を作ってもらえると、その時間にそれに興味がある人たちが集まるので、新たな交流が生まれるのではないかと。

(8) 席替え後「イベント」グループ②

- ・伊賀鉄道に関するイベントができないか。図書館から鉄道が見えるのはとても珍しいこと。図書館に鉄道に関するコーナーを作ることを含め、何か鉄道に関するイベントができると、鉄道に興味のある方が遠くから来てくれて、伊賀に興味を持ってくれる可能性がある。
- ・伊賀の郷土に関するイベントがあるとよい。伊賀を知る・地域を知ること大切。伊賀の獅子舞など、オープニングイベントにめでたいものと呼ぶのもいいのではないかと。地元の方に地元を知ってもらうのも大切だが、周辺地域の人にも伊賀を知って集まってほしいので、そういうのをアピールできるイベントがあったらいいのではないかと。
- ・新図書館ができるので、時代や場所に限らず、様々な図書館の展示やコーナーがあるとよい。
- ・音楽関係のイベントをお酒やグルメ付で開催すると、多くの人たちが足を運んでくれると思う。

(9) 席替え後「本棚」グループ

- ・読み聞かせボランティアの活動の中で、大型の絵本をよく使う。今の図書館では大型絵本がいろんな所に散らばって並んでいるが、一か所にまとめてもらえると自分たちで探せるようになる。
- ・自分ではなかなか本が買えないので、本を増やしてほしい。
- ・本を並べるときは、棚に少し余裕を持って並べてほしい。そうすればカバーも傷まない。
- ・絵本で同じような題名の本は、同じところに並べてほしい。そうすると選書がしやすい。

3. まとめ

今回のワークショップでは、一人ひとりの得意なことや関心のあることを踏まえて、「新しい図書館でどう活かせるか」「こんな図書館になってほしい」というアイデアを自由に語り合うことができた。イベントやコミュニティ作りなどに多くのアイデアをいただいた一方、空間に関してやボランティアの活動の場に関してなどに心配の声もあった。静かに本を読みたい人にとぎわいの場がほしい人たちとのすみわけを考え、ボランティア活動の機会の確保に取り組んでいく。

今回のワークショップを通じて、より多くの方に新しい図書館に来てほしい・伊賀に来てほしいという思いは皆一緒であると再認識ができた。多くの意見やアイデアを参考に、空間づくりやイベント実施など今後の運営に活かしていく。また、新図書館開館前に、ボランティアや図書館で活動したい方向けの説明会を開催し、具体的な活動の説明を行う予定。

今後の流れ

令和 7 年 7 月	旧上野市庁舎オープン（図書館以外の部分）
令和 7 年 7 月～	プレイベントを実施。 ワークショップでの意見やアイデアを参考に、上野図書館、新図書館でできることをとりあえずやってみる期間とする。
令和 7 年11月～	上野図書館引っ越し、開館準備。
令和 8 年 1 月～	ボランティアや図書館で活動したい方向けの説明会を開催し、具体的にどんな活動ができるのかを説明する。
令和 8 年 4 月	新図書館オープン



Ⅲ ワークショップ内のイラスト写真 [付録]

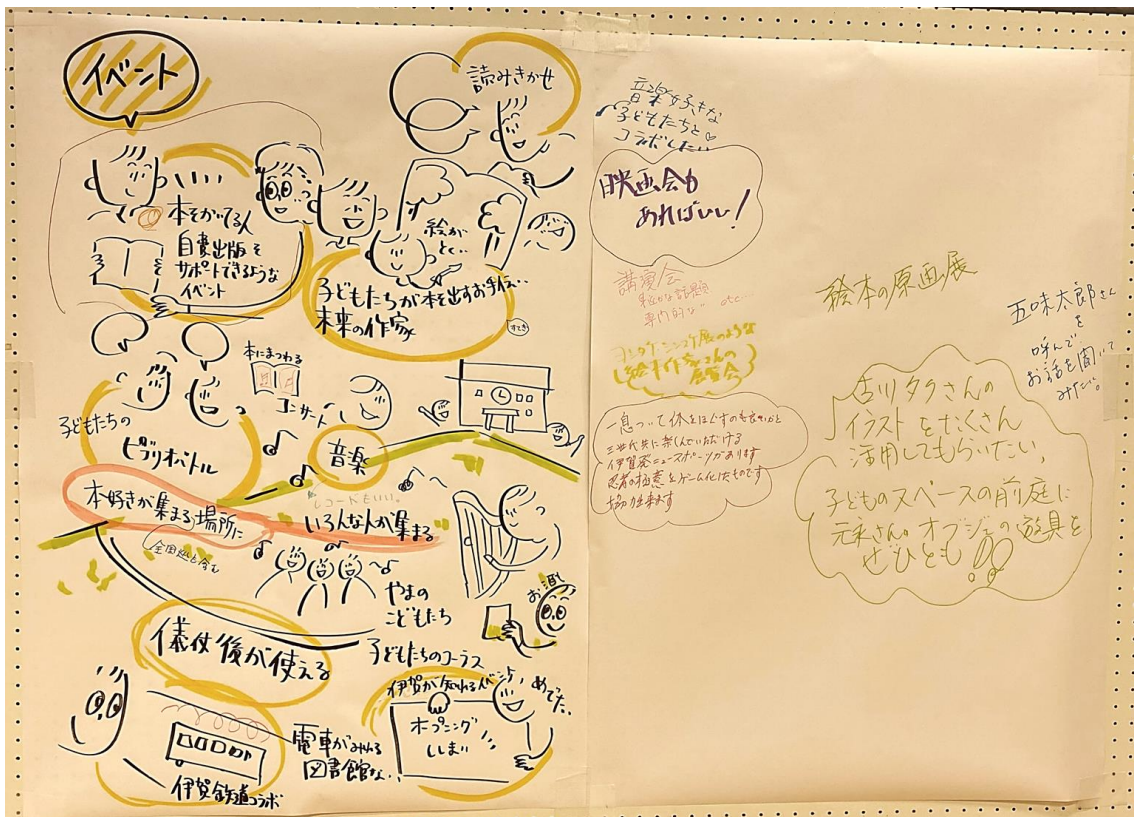
オープニング、今後の流れ



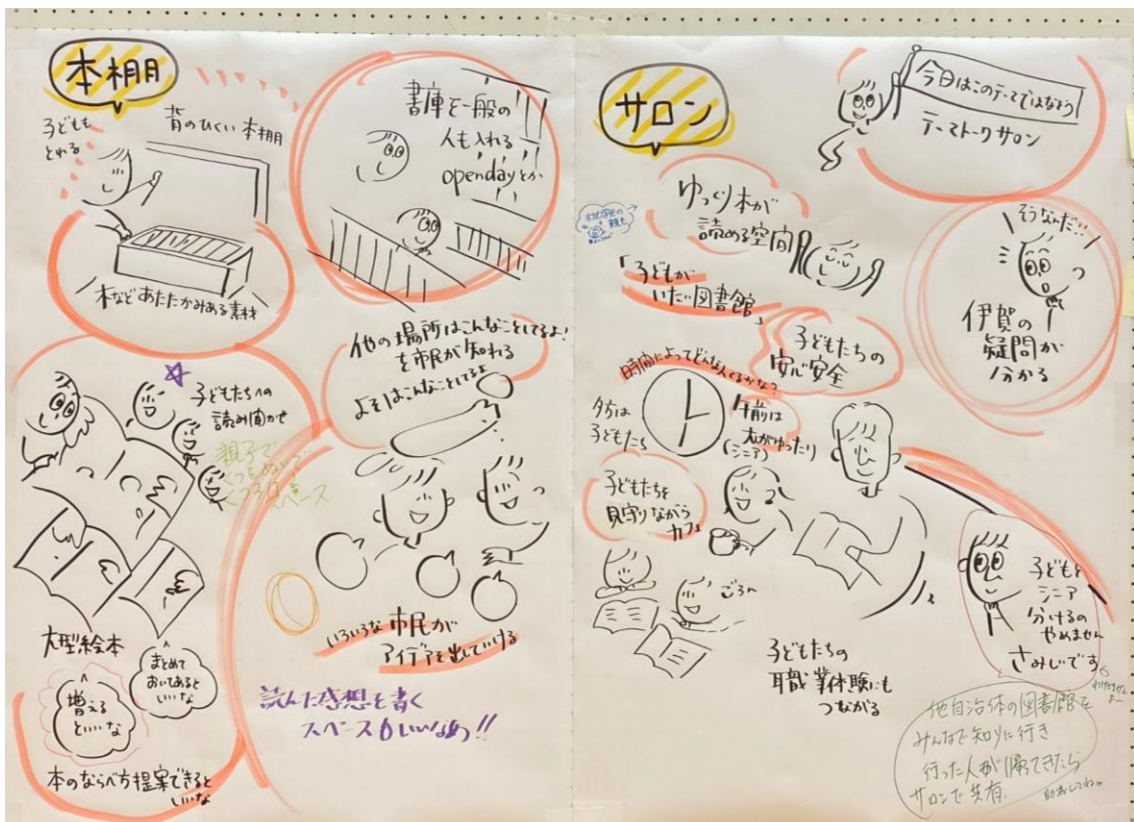
新図書館の説明、ワークショップの目的



イベント



本棚、サロン



お手伝い



心配ごと・疑問



伊賀市にぎわい忍者回廊整備（忍者体験施設等整備）事業
図書館ワークショップ「新図書館×みんなのアイデア」 報告書
令和7年（2025年）5月発行 / 編集（株）伊賀市にぎわいパートナーズ